

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 6月 1日
21時 05分受付 ①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和8年6月1日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩重彦

質問事項

1. 都市計画道路整備の現状と課題について

【補助資料 有 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市においては、26本の計画決定をしている都市計画道路があるにもかかわらず、その整備については大きく遅れており、50年以上経っても未だに一向に事業の展開がなされていない道路もある。

現在、事業実施している「三沢西福童線」は事業進捗に多くの時間を要しており、次の都市計画道路の事業開始時期も未定となっている。このように整備が遅れているのは、何が原因なのか市としてどのように分析されているのか問う。

なお都市計画道路はまちづくりに必要な道路として位置付けられているので、交通渋滞緩和につながる未整備の道路は、市全体の道路網や交通体系を視野に入れて早期に事業着手すべきであると考えますが、市としての見解を問う。

また、事業着手が大きく遅れていることにより、計画予定区域の住民にとって建築等の規制が長い間かけられていて不利益が生じている。そのため規制緩和措置を実施している自治体もあるが、市としての見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 都市計画道路の整備状況について問う。
- (2) 交通渋滞緩和の視点での都市計画道路の整備について問う。
- (3) 未整備の路線の今後の展望について問う。
- (4) 都市計画道路の計画予定区域における規制緩和措置について問う。

2. 地域の課題解決に向けた取り組みについて

【補助資料 有 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市において地域の課題は、毎年末端行政である行政区の区長を通して市へ要望書を提出されており、また併せて校区区長会で取りまとめて校区要望事項も出されているところである。

しかし、要望項目が非常に多く、またその内容も多岐にわたっており、その整備については、財政的な理由も含めてなかなか事業実施へと至っていないのが現状である。

このことについて、本市のこれまでの取り組みと今後の課題についてどのように捉えているのか市としての見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 各行政区から出されている要望書について問う。
- (2) 校区区長会から出されている校区要望事項について問う。

未整備の 都市計画道路

現在整備中

●三沢西福童線(16号線)

次期整備予定

●筑紫祇園線

未整備路線 (整備率0)

①津古停車場線

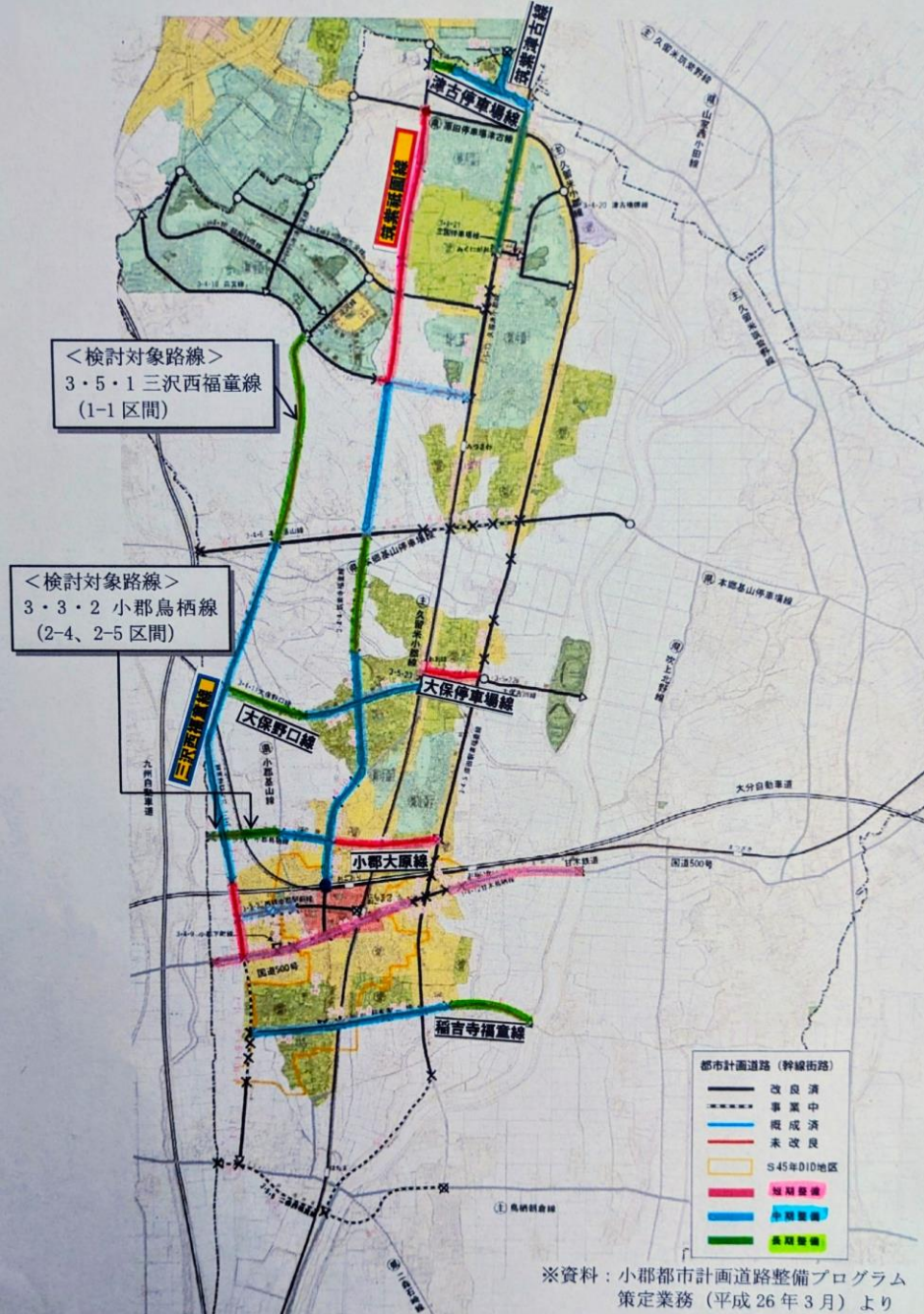
②筑紫津古線

③大保停車場線

④大保野口線

⑤小郡大原線

⑥稲吉寺福童線



▲都市計画道路整備プログラムと検討対象路線

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 5月 29日
16時 20分受付 1番

令和8年5月29日

会派名 _____

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田 典彦

質問事項

1. 子宮頸がんワクチン接種促進と2回接種制度について【補助資料[○]有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

子宮頸がん撲滅に向け、今年度から HPV ワクチンの公費接種対象が定期接種の小学6年生から高校1年生に限定され、キャッチアップ接種が終了した。まず、現時点での接種率の状況と接種率が上がらない課題について見解を問う。また、15歳未満で接種を開始した場合は2回接種で完了でき、3回接種と同等の有効性・安全性が確認されていることから、接種負担の軽減や受験期を避けた早期接種を促すための周知の在り方について問う。

さらに、2回接種による公費負担の軽減効果も踏まえ、今後、接種率向上に向けて市としてどのような取り組みを進めるのか、その方針を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) キャッチアップ接種及び定期接種対象の接種率の現状と課題、向上策を問う。
- (2) 15歳未満での2回完了の利点と早期接種の必要性及び周知方法を問う。
- (3) 2回接種による公費負担軽減と行政効果について問う。

質問事項

2. 高齢化を踏まえた投票環境と主権者教育の充実【補助資料[○]有・無】(市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

直近の令和8年4月執行の小郡市議会議員選挙では投票率が45.16%にとどまり、前回市議選を下回る。高齢化率が30%前後まで上昇する中で、期日前投票所が生涯学習センターでは、高齢者や自家用車を持たない市民にとって必ずしも利用しやすい環境とは言えないのではないか。本市ではデマンド交通が公共交通として運行され、多くの市民が日常的に大型商業施設を利用しやすい環境にあるため、新たな投票場所としての可能性がある。

全国では10代の投票率は直近の衆院選でも約4割にとどまっている。こうした状況を踏まえ、投票所の在り方と学校現場での主権者教育の充実について、本市の現状と課題、今後の方向性を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 高齢化を踏まえた期日前投票所の課題認識と利用状況・市民意見の把握を問う。
- (2) 商業施設での期日前投票所設置の検討状況と課題、今後の方針を問う。
- (3) 主権者教育の具体的な取組内容とその実施状況を問う。
- (4) 若年層の投票参加につなげるための主権者教育の課題と今後の取組について問う。

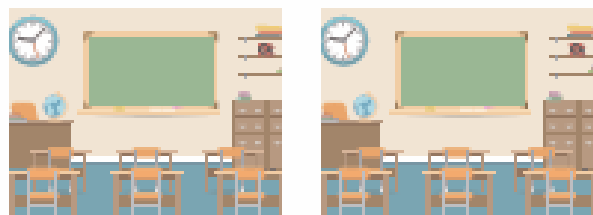
<何人くらいが子宮けいがんになるの？>

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約900人います。

<一生のうち子宮けいがんになる人>

1万人あたり130人

2クラスに1人くらい



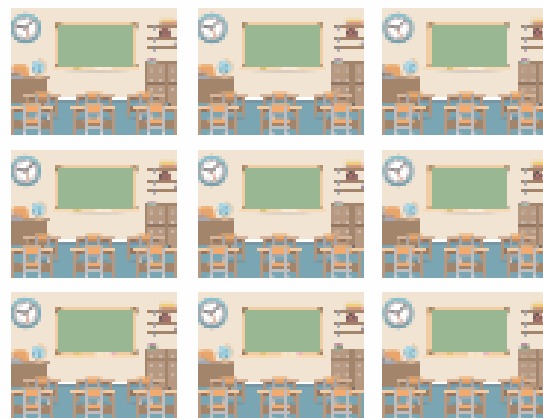
1クラス約35人の女子クラスとして換算かんさん

つまりこれってどのくらい？

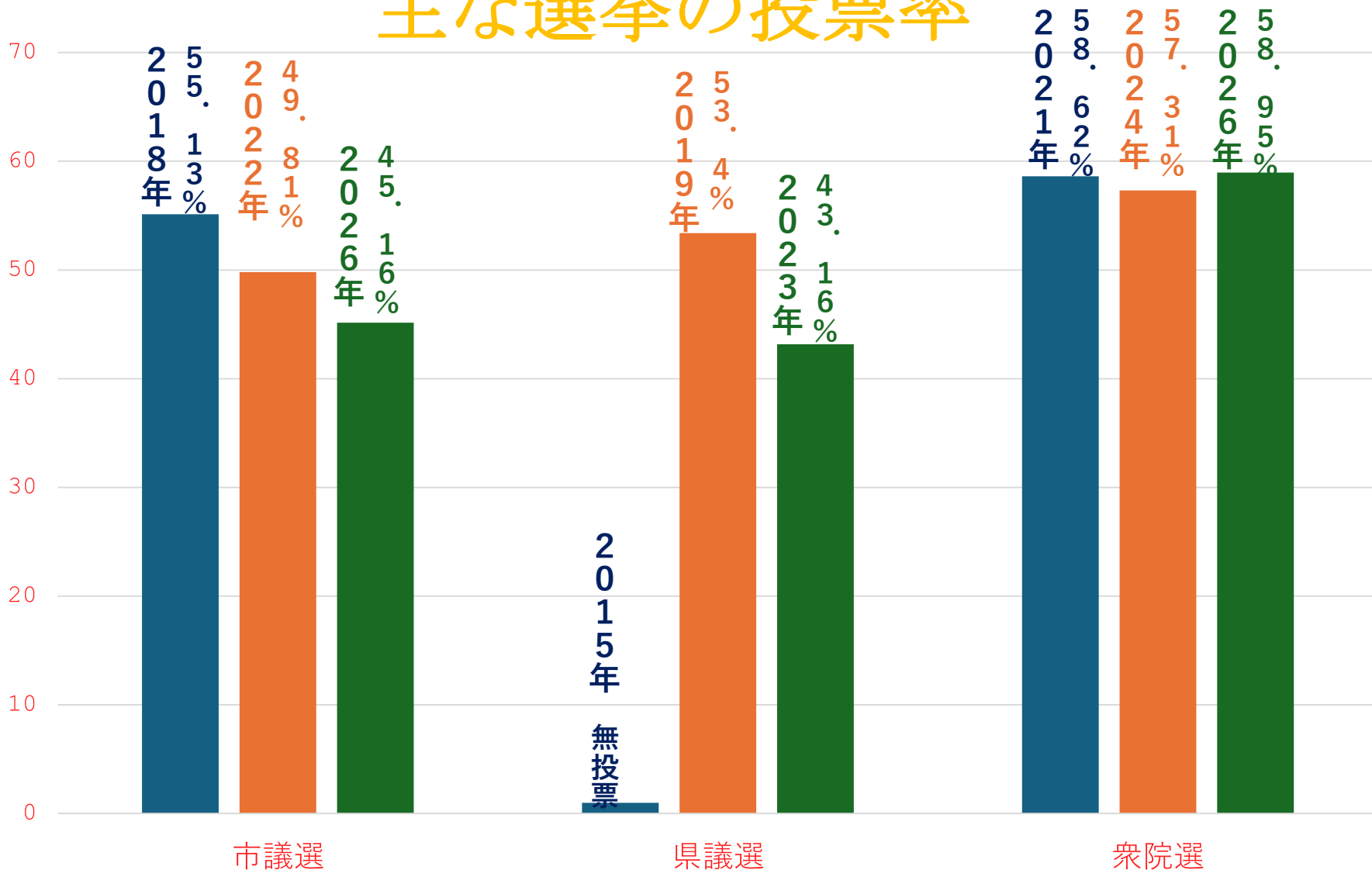
<子宮けいがんて亡くなる人>

1万人あたり31人

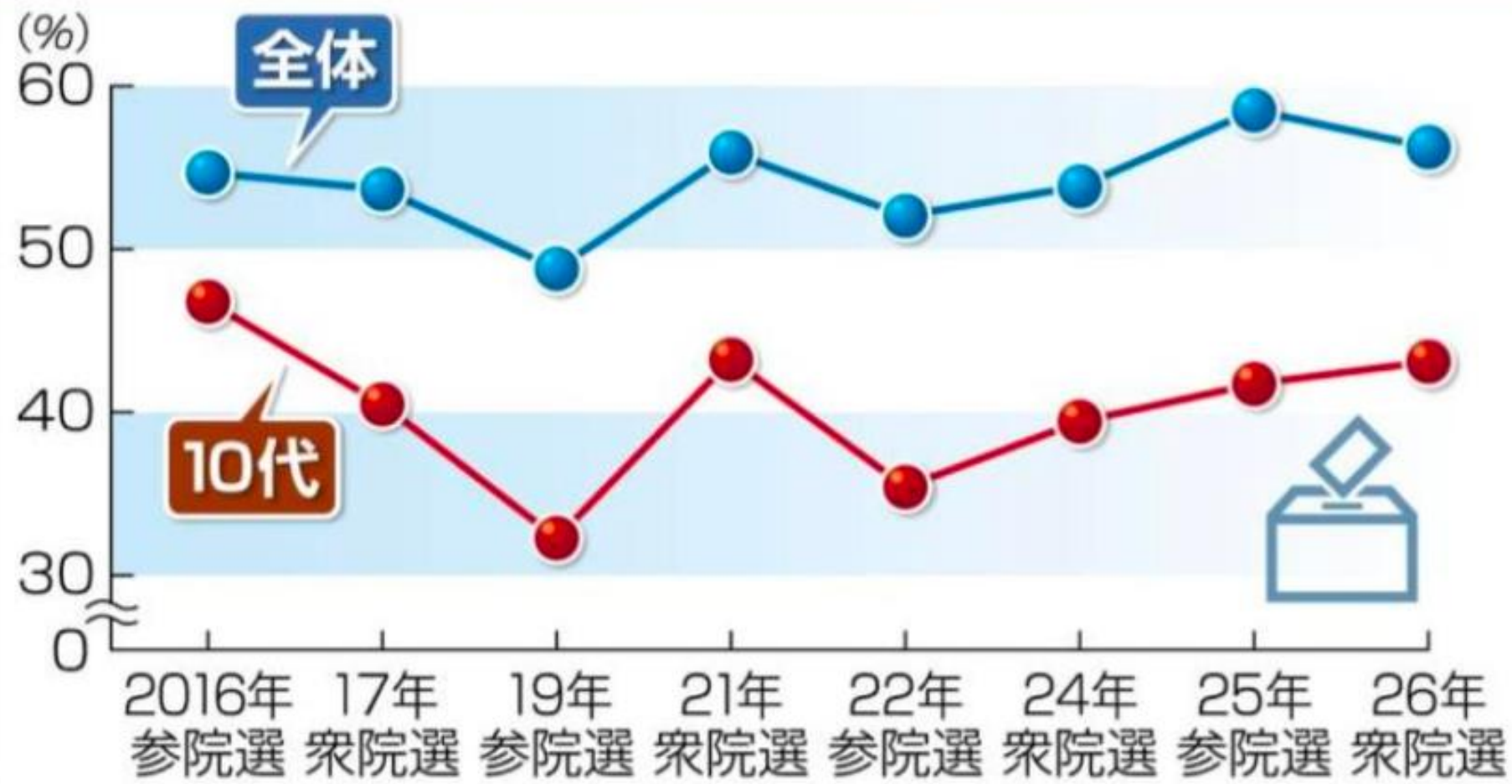
9クラスに1人くらい



小郡市で実施された 主な選挙の投票率



国政選挙の投票率



※総務省による。10代投票率は抽出調査。16年参院選と17年衆院選の10代投票率は全数調査

①(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 5月 29日
16時 34分受付 2番

令和8年5月28日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 松野 美雪

質問事項

1. スーパーマーケット撤退問題 **【補助資料 有・①】 (市長)**

質問要旨 (課題・問題点等)

三国が丘駅前をはじめ、市内におけるスーパーマーケットや小売店撤退に伴う買い物環境の悪化について、市の現状認識と今後の対応方針及び、移動式店舗 (移動販売) の活用可能性や課題、市としての支援策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現状把握について伺う。(買い物弱者や高齢者への影響等)
- (2) 市の対応・支援策について伺う。

質問事項

2. 空き家について **【補助資料 有・①】 (市長)**

質問要旨 (課題・問題点等)

市内で空き家が増加し、防災・防犯・景観悪化への不安が高まっている。近年では犯罪利用の懸念も指摘され、地域住民や区長から対応を求める声が強まっている。一方、市はこれまで「特定空き家はない」と答弁しており、現場感覚との乖離も感じられるため、空き家の実態把握と対応状況について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 国の統計等を踏まえた小郡市の推計数について伺う。
 - ① 空き家総数について伺う。
 - ② 利用目的のない空き家について伺う。
 - ③ 管理不全空き家について伺う。
 - ④ 特定空き家について伺う。
- (2) 市がこれまで「特定空き家はない」と答弁してきた根拠について伺う。
- (3) その根拠が調査に基づく場合、調査件数・調査項目・対象地域について伺う。
- (4) 昨年12月議会答弁に基づく、区長や近隣住民からの相談内容と、所有者への助言・指導の実施状況、結果について伺う。

(~~一般~~・代表) 質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 5月 30日
12時 29分受付 3番

令和 8年 5月 30日

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 行平 佳弘

質問事項

1. 「小郡市こども計画」に基づく教育・子育て予算の拡充について

【補助資料 有・~~無~~】(市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は「こども計画」により「こどもの最善の利益」を目標に掲げた。昨今の物価高騰下で、子育て世代は教育環境の改善や経済的負担の軽減を強く求めている。令和8年度当初予算は過去最大規模となり、十分な財政調整基金も確保されている。今こそこの強固な財政基盤を活かし、市民が実感できる直接的な負担軽減や安全な教育環境の更なる充実に踏み込むべきである。市長が掲げる「こども計画」を予算の裏付けをもってどう具現化するのか、その政治姿勢と決意を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 学校給食費の無償化における「質と量」の担保について問う。
- (2) 子ども医療費助成の拡充および市内小児医療提供体制の確保について問う。
- (3) 学校体育館への空調設備整備の加速化について問う。

質問事項

2. 外国人人口急増に伴う今後の市政運営と施策の優先順位について

【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市における外国人住民数は、過去12年間で約5.5倍の1,753人へと急増した一方、出生数は減少の一途をたどっている。多様性の尊重という理念は重要であるが、行政の第一義的責務は、先人から受け継いだ地域コミュニティを将来世代へ継承することにある。「選択と集中」が求められる財政状況下において、現在の外国人住民への対応が、限られた行政リソースを最適に配分しているといえるのか。地域社会との調和、生活ルールの徹底、防犯・防災対策を含む将来を見据えた管理体制について、市長が考える「最も優先すべき将来像」と、今後の市政運営の指針について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市政の『現状把握能力』と『計画の整合性』について問う。
- (2) 多文化共生施策の本気度と今後の方向性について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 6月 1日
10時 55分受付 4番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 1日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 内山 伸博

質問事項

1. 宝満川支流河川の治水対策について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

広報「おごおり6月号」表紙で「出水期到来、今一度備えを確認しましょう」とある。家庭でできる水害対策チェックリスト、情報収集、市の取組み(大崎雨水ポンプ場)、地域で支える治水対策として花立地区の田んぼダムの紹介、先行排水の取組み(宝満川の4堰、ため池)は、農業への影響に配慮しつつ、先行排水で水害対策を推進と掲載されていた。また、5月10日に実施された小郡市消防団及び市職員による水防訓練も出水期前に市民への注意喚起及び水害時の即応体制になると思う。そこで、今回は宝満川支流河川や農業用ため池の先行排水状況とその効果について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 田んぼダムの効果について問う。
- (2) 宝満川支流河川(県営、市営)の堰について問う。
- (3) 宝満川支流河川の堰の先行排水状況と効果について問う。
- (4) 小郡市の農業用ため池個所数について問う。
- (5) ため池の先行排水状況と効果について問う。

質問事項

2. 防火水槽の維持管理について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和7年6月議会で消防水利の現状について一般質問させて頂いた。今回は、消防水利の中で防火水槽についてお尋ねする。開発等で設置された防火水槽は、貯水容量40t、且、蓋架けされて小郡市に帰属されていると思う。また、小郡市に寄付され設置された公設の防火水槽も40t、蓋架けされているが、個人所有地(私設)に設置され、蓋掛けされていないで、転落防止柵が老朽化した防火水槽の現状把握と維持管理について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 何故、市に帰属されていないのか問う。
- (2) 小郡市内の私設防火水槽の現状把握について問う。
- (3) 私設防火水槽の維持管理について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 6月 1日
11時 01分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 1日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 若 菜 久 徳

質問事項

1. 屋外スポーツ施設の維持管理と利用環境整備について【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

現在、中学校部活動の地域移行が進められている中、多目的広場、小郡地域運動広場、たなばた地域運動広場、東野地域運動広場、立石地域運動広場をはじめとする屋外スポーツ施設の重要性が高まっている。一方で、市民や利用団体からは、グラウンドの排水不良や土の状態、設備老朽化、照明設備、トイレ環境、予約の取りづらさなどの声が上がっている。そこで、施設の現状や維持管理体制、課題を確認するとともに、ネーミングライツや民間連携も視野に入れたスポーツ環境整備に向けた市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 上記の主な5つのグラウンドの利用状況、稼働率及び予約状況をどう把握しているのか。
- (2) グラウンドの排水、土、照明、ネット、トイレ等の点検体制と頻度はどうなっているのか。
- (3) 利用者や競技団体、市民からの要望をどのように把握し、施設改善へ反映しているのか。
- (4) グラウンドの不良や設備破損時の修繕基準及び対応の流れはどのようになっているのか。
- (5) 施設維持の財源確保について、ネーミングライツや民間連携をどのように考えているのか。
- (6) スポーツ環境の維持・整備に今後どのように取り組むのか。

質問事項

2. 災害リスクを見据えた地域農業の維持について 【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

近年、肥料や燃料、農薬、ビニール資材などの価格高騰により、地域農業を取り巻く環境は厳しさを増している。特に農業者の経営体力が低下する中、豪雨による農地冠水や排水不良などの災害が発生すれば、離農や営農継続の断念につながることも懸念される。市内の農業者からも資材価格の高騰や担い手不足、災害への不安の声が聞かれる。そこで、地域農業が抱える課題や災害リスクに対する市の認識を確認するとともに、地域農業を守り次世代へつなげるための考えについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 資材高騰や担い手不足などの課題を市はどのように把握し認識しているのか。
- (2) 農業者との意見交換や現地確認をどのように行い、現場の声を施策へ反映しているのか。
- (3) 災害発生が地域農業の維持に与える影響をどのように認識しているのか。
- (4) 農地冠水や排水不良に関する現場の要望について、どのように把握し対応してきたのか。
- (5) 地域農業を守り次世代へつなげるために、今後どう取り組むのか。

(一般)質問通告書

令和 8年 6月 1日
13時 16分受付 6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 1日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 河野 祥子

質問事項

1. ナフサ不足による小郡市の事業や市内の業者への影響について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

報道や市内や近隣の市町村の事業者から業務用資材の不足による、経営難について見聞きしており、市がその状況を把握しているか、またどのような対策ができるか見通しを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市指定のゴミ袋の製造コストが上がっていることについて問う
- (2) 市内の飲食、建設、車関係などへの影響の把握をしているかについて問う
- (3) 国の制度も含めて今後、どのような対策をとっていくかについて問う。

質問事項

2. 国民健康保険について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市の国民健康保険制度の現状と今後の見通しについて、加入者数の推移や年齢構成、国民健康保険税の負担増の可能性について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現状と今後の見通しについて問う。
- (2) 一般紙等で報道されているマイクロ法人を作る、実態のない会社の理事になる、そういった形で国民健康保険から抜けるケースなど、加入者の実態について問う。
- (3) 加入者を増やし負担を引き下げる対策について問う。

(一般)質問通告書

令和 8年 6月 1日
14時 03分受付 7番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 1日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 高崎 裕人

質問事項

1. 市民の政治参加について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市政運営において、市民の意見や要望を的確に把握し、施策へ反映させることは極めて重要である。一方で、「どこに相談したらよいか分からない」「意見を伝えても結果が見えない」といった声も聞かれる。市民がより気軽に意見を届けることができ、その声が市政に活かされる環境づくりに向けた施策について問う。

近年、国政選挙や地方選挙において投票率の低下が続いており、特に若年層の投票率は民主主義の基盤に関わる重要な課題である。本市においても有権者の政治参加を促進し、民意をより適切に反映するため、投票率向上に向けた取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市の投票環境や投票率の現状と分析について問う。
- (2) 今後の投票率の目標設定や向上の施策について問う。
- (3) 市民の声を市政に届ける仕組みの充実について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 6月 1日
14時 32分受付 8番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和8年6月1日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤 理 恵

質問事項

1. 小・中学校の体育館におけるエアコンの設置について【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

学校体育館へのエアコン整備について、中学校5校は設計監理委託料が今年度の当初予算に計上された一方、小学校8校は整備時期が未定であり、全体のロードマップや年次計画も示されていない。小・中学校はすべて指定避難所であり、教育環境の確保と災害時の避難環境整備の両面から、全校を見据えた方針が必要である。そこで、本市の基本方針、中学校先行の理由、小学校を含む今後の見通し、財源確保及び年次計画の策定について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本市の基本方針について問う。
- (2) 中学校先行の理由と小学校の整備の見通しについて問う。
- (3) 財源確保と国制度の活用について問う。
- (4) 年次計画の策定について問う。

(一般代表)質問通告書

令和 8年 6月 1日
16時 42分受付 9番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 1日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 大塚 光

質問事項

1. 「第三の学び場」事業について

【補助資料 有・**無**】 (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和7年度より「第三の学び場」の提起がされている。現在の社会においてさまざまな市民のニーズに対応できる学びの場ができることに期待する。そこで、「第三の学び場」の構想と現状について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 対象者は「こどもから高齢者まで」で「不登校の児童・生徒も利用可」ですすんでいるか。
- (2) 不登校のこどもたちが利用する場合、学校(スペシャルサポートルーム)や「りんく小郡」との連携は可能か。
- (3) 開設までのスケジュール、今後の取り組みはどのような予定か。

質問事項

2. 小・中学校の教職員の配置の状況について

【補助資料 有・**無**】 (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

こどもたちにとって教職員は最大の教育条件・環境である。しかし残念ながらここ数年、教職員が定員に満たない学校が増えてきている。そこで、本年度の市内小中学校教職員の配置の状況と対策について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本年度、スタート時の各学校の教員配置状況はどうなっているか。
- (2) 会計年度職員(講師)の募集状況や方法はどうか。
- (3) 教員が足りない学校に対する教育委員会の対応はどうしているか。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 6月 2日
6時 36分受付 10番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和8年6月2日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田 中 和 男

質問事項

1. 若者に選ばれるまちづくりについて

【補助資料 有 無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、交通の利便性に恵まれたまちでありながら、20代の若者の転出超過が続いている。私は、人口減少そのものよりも、地域を支える若い世代が減少することによる地域力低下を危惧している。

消防団、行政区活動、自主防災組織などの担い手不足が進めば、大規模災害時の対応力にも影響を及ぼすと考える。

そこで、20代の転出超過が、財政面も含め市の将来にどのような影響を与える課題と認識しているか問う。

質問明細 (具体的に)

- 直近5年間の20代男女の転出、転入状況はどうなっているか。転出超過であれば、その原因をどのように分析 (男女別) しているか。
- 若者が定住し、また集まってくるような「若者に選ばれる小郡」を創るために行っている事業はなにか。又今後、どのように政策展開していくのか。
- 小郡市の就労者の70%は、市外で就労している。若者に住み続けてもらうための、又移り住んでももらうための雇用対策は、どのように考えているか。
- 行政区の自治会やまちづくり協議会の役員に若者の参画を促し、地域づくりに愛着を持てる仕組を構築していく考えはないか。
- コストコに協力してもらい小郡市のPRができないか。魅力あふれる小郡を創るとともに広報活動に力を入れるべきと考えるがどうか。

(一般)質問通告書

令和 8年 6月 2日
8時 40分受付 11番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 2日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. 生成AIの活用について **【補助資料 無】** (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和6年9月議会で『生成AIが開発され、日々、技術革新やサービス開発など、想像以上のスピードで進んでいる。生成AIの発展と普及が様々な場面で進んでいる中で、地方公共団体や学校などでも活用が始まっている。小郡市における生成AIに対する考え方、ならびに今後の活用についてどのように考えているかを問う。』という質問をした。当時から約2年が過ぎた。世間では生成AIを活用することが当たり前になっている。では、小郡市はどのように活用を進めてきているのか。また、今後の利用についての展望を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市における生成AIの導入状況について問う。
- (2) 学校現場における生成AIへの考え方について問う。
- (3) 今後、小郡市は生成AIをどのように活用していくのか。考え方を問う。

質問事項

2. 投票率アップに対する市の考え方を問う **【補助資料 無】** (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和7年7月には参議院議員選挙が。令和8年2月には衆議院議員選挙が。さらに令和8年4月には小郡市議会議員選挙が実施された。過去、多くの市議会議員が投票率のアップ策について一般質問を繰り返してきた。では、どのような施策をし、投票率に対しどのような効果があったと分析しているのかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 過去の一般質問で、大型商業施設に期日前投票所を増設や移設することを検討協議するという答弁があったが、その後の進展について問う。
- (2) 移動期日前投票所に対する考え方を問う。
- (3) 期日前投票の時間を延長する考えはあるのかについて問う。
- (4) 免許返納をされた方や体が不自由な方など、投票所への移動が困難な方に対して、投票をする権利を保障することはできないのか。考え方を問う。
- (5) 共通投票所を設けることに対する考えはあるのかについて問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 8年 6月 2日
8時 49分受付 12番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 6月 2日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 高齢者の居場所づくりと健康支援について 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

高齢化が進む中、高齢者の孤立防止や健康維持、生きがいづくり、介護予防は重要な課題である。また、独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加が見込まれる中、高齢者が生きがいや人とのつながりを持ちながら健康を維持できる環境づくりの重要性は、ますます高まっていると考える。

そのような中、本市において令和8年4月より、民間事業者と連携した高齢者のフレイル予防や居場所づくりに関する取組みが開始されたことは、大変意義のある取組みであると受け止めている。

今後は、このような取組みをさらに市全体へ広げ、高齢者が生きがいを持ちながら安心して交流できる環境づくりを進めていくことが重要であると考えます。

そこで、一部事業者との連携にとどまらず、市全体で高齢者の居場所づくりや健康支援をどのように進めていく考えなのか、市の見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和8年4月に開始された民間事業者と連携した高齢者のフレイル予防や居場所づくりに関する取組みについて、市はどのような効果を期待しているのか問う。
- (2) 市内には大小様々な民間事業者や地域交流の場が存在している中、今後、市として高齢者の居場所づくりをどのように広げていこうと考えているのか問う。
- (3) 独居高齢者や外出機会の少ない方など、地域とのつながりが薄くなりがちな高齢者への支援について、市はどのように取組んでいく考えなのか問う。

質問事項

2. 児童生徒の多様な学びと進路支援について 【補助資料 有・**無**】 (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

全国では、不登校児童生徒数が35万人を超え過去最多を更新しており、多様な学びへの対応や一人ひとりに応じた支援の重要性が高まっている。

また、発達に特性のある子どもや様々な事情を抱える子どもたちが増える中、進路選択に不安や悩みを抱える児童生徒や保護者も少なくない。

文部科学省においては、学年を超えた学び直しや個別最適な学びの推進、多様な学びを評価や進路につなげていく方向性が示されるとともに、学校外で行った学習成果を成績評価に反映できることが法令上明確化されている。

そこで、本市における児童生徒の多様な学びと進路支援について、現在の状況や今後の方向性について問う。

質問明細（具体的に）

- （１）不登校や発達に特性のある児童生徒など、多様な状況にある子どもたちに対し、学校ではどのような進路指導や支援を行っているのか問う。
- （２）多様な進路選択を支えるため、学校と保護者との連携や情報提供、相談支援について、市はどのように取り組んでいるのか問う。
- （３）文部科学省が示している学年を超えた学び直しや個別最適な学び、多様な学びを評価し進路につなげていく方向性、また学校外の機関や自宅等で行った学習成果を成績評価へ反映する考え方について、本市ではどのように捉え、今後どのように取り組んでいく考えなのか問う。

質問事項

2. 自治体 DX 及び業務改革推進と市民サービス向上について【補助資料 無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

近年、自治体 DX の推進やデジタル技術の活用、業務改革、民間業務委託の活用などにより行政運営の効率化が進められている。これらの取り組みは業務の効率化やコスト削減を目的とするだけでなく、創出された時間や人員を市民サービスの向上や相談支援の充実、政策形成機能の強化につなげていくことが重要。

本市における DX の取り組み状況と成果、また業務効率化によって創出された時間や人的資源をどのように市民サービスへ還元しているかについて問う。

質問明細（具体的に）

- （1）DX 及び業務改革の推進状況と目的について問う。
- （2）窓口業務をはじめとする民間委託の現状と目的について問う。
- （3）業務効率化の成果及び検証について問う。
- （4）創出された時間や人員の活用状況について問う。
- （5）市民サービスの向上の成果と今後の方針について問う。